

2017 Management policy

GO TO THE NEXT

～進化しよう!～



INDEX

- P1 理事長挨拶
- P2-P9 各事業所の笑顔の風景
- P10 めいとくBの商品紹介・お知らせ

社会福祉法人明徳会では、毎年度末に理事長から運営ポリシーが説明されます。今回は明徳会の特徴であり、私たちが日々の仕事の中で大切に考えているこの運営ポリシーについて、理事長がその思いを熱く語ります。



運営ポリシーへの思い

理事長 樺嶋 潤一郎



今年度の運営ポリシーは「GO TO THE NEXT 進化しよう!」です。私たちが提供している障がい福祉は、これから次のステージに進むことを意識して自らその道を切り開くという思いが込められています。これまでの障がい福祉環境を振り返ると制度や法律、支援の考え方、障がい者権利条約など、想像を超える改革の連続でした。明徳会がスタートした12年前、今の状況を予想することは出来ないくらいの進化だと思います。障がい者総合支援法関連もここ最近はややく落ち着きを見せてきましたが、これからの、10年を考えるとこれまでと同じくらい進化する要素が今たくさん考え

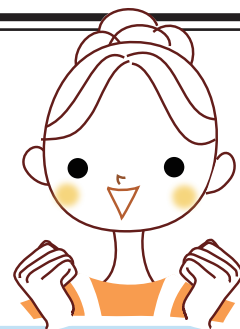
られます。障がい者福祉は、次のステージを迎えると考えなければいけないと思います。

運営ポリシーは、理念である「安心・安全・安らぎの福祉社会創造にチャレンジ」を基に「VISION」と言う中長期計画があり、さらに単年度の目標を設定しミッションをクリアをする為の短期計画のスローガンです。

基本的に、今ある明徳会の現状や福祉環境などからタイムリーな短期計画を策定するようにしています。例えば、前年度のご利用者様やご家族より寄せられたCSアンケート（ご利用者様満足度アンケート）の内容や苦情要望の分析、職員アンケートやヒアリングから読み取れる職員のモチベーション、スキル、法人全体の成長状況などから、次年度は特にどこに力を入れて運営するべきかを判断し決定します。

NEXTとは、障がい福祉の理想的な次世代のステージという願いがあります。本格的な地域移行や地域支援、権利擁護・虐待防止の更なる取組み、社会福祉法人の福祉の担い手としての使命、就労や自立支援の拡大、障がい者の高齢化対策等々、幅広く奥深い課題や改善項目が一つ一つ整備され、より良い環境が整っていく過程において明徳会が考える福祉社会の創造に微力ながら貢献できることがあると思います。運営ポリシーは、ただ単に短期計画という事だけではなく、上記のようなチャンスにしっかり対応し、常にモチベーションを良好な状態で、職員が同じ方向を向いて日々の支援や業務にあたる為のとても大切なツールです。

みなさんの **えがお** の場面を紹介していきます



入所部・きらり・さくら
オーパス・あおぞら
わかば・スタークラブ

01

ゆめくらし事業所 オレンジハウス



02

障がい者支援施設 チャレンジめいとくの里



03

障がい者福祉サービス事業所 ケア・ハピネス



04

チャレンジめいとくの里 ゆめくらしワークス事業部



らふ
そよかぜ
Rog Cafe

就労移行支援
生活訓練
就労継続支援 B 型

01

ゆめくらし事業所
オレンジハウス

Orange house

オレンジハウスでは入居様自身で出来る事は、自分達で分担をしながら行い、サポートが必要な方には支援員や世話人がお手伝いをしながら生活を行っています。また、日常生活のあらゆる場面で入居者様に自己決定、自己選択をして頂き、可能な限り入居者様らしい生活が実現できるように支援を行っています。

自分で出来る事は自分で頑張っています！

Oさんは食事の際に必要なトロミを、準備から調理まで毎日一人で行っています。その他にも毎日入浴後は自分で洗濯機をまわし、お部屋に干して、片付けまで自分で頑張って取り組まれています。



地域生活を実感！

Oさんは昨年度までめいとくの里でヘアカットを行っていましたが、最近美容室でヘアカットをしたいと強く思うようになり、現在一人で美容室に行くことが出来るように練習を行っています。いずれは福祉タクシーを使い、美容室に行くことを目標にしています。お金の支払いなど不安は多いとは思いますが、自分がしたいこと、行きたい場所に行くことが出来ることで、生活が充実し毎日笑顔で過ごすことが出来ています。



チャレンジめいとくの里 入所部

チャレンジめいとくの里では、「安心、安全、安らぎ」の理念のもとに、ご利用者様の望む生活の実現に向けた支援を行っています。今回は、入所ご利用者様の生活の一部をご紹介します。

Uさんの日常生活

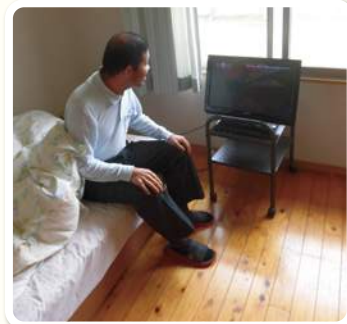
～ Uさんの休日～

Uさんは男性棟の廊下で歌を歌いながら他の利用者様や職員が通ると笑顔であいさつや声を掛ける事が大好きな方です。Uさんの笑顔に私たちも笑顔になります。



～ Uさんはめいとくの里の応援団長～

居室ではテレビを観る事が好きなUさんですがニュースやスポーツなど様々なジャンルの番組を観られています。ときにはテレビに向かって大きな声で応援されています。職員が居室にお邪魔させて頂くと「隣に座って」のジェスチャーがあり、職員はその優しさにいつも和んでいます。



Tさんの笑顔

～洗濯物片付け取り組み～

Tさんは、日ごろ洗濯物の片付けに取り組まれています。その際に、ズボンと上着を同じ棚に片付けてしまわれることがあります。そのため、それぞれ決まった場所に衣類を片付けることを目標とした支援計画に取り組まれています。



～洗濯エピソード～

洗濯物を片付ける時は、「たたんでね～」「ありがとう。」と言われながら、頑張られています。洗濯物量みが終わり、ご自分で洗濯室まで籠を持って行くことでTさんの取り組み終了です。今後、ズボンをハンガーに掛けることで上着と別々に片付けることができるように一緒にチャレンジしていきます!!



きらりグループ

きらりグループは主に自閉症の方が多く所属されているグループです。午前には運動の為、ウォーキングに取り組み、午後からは展示会に向けた創作活動や個別活動に取り組んでいます。



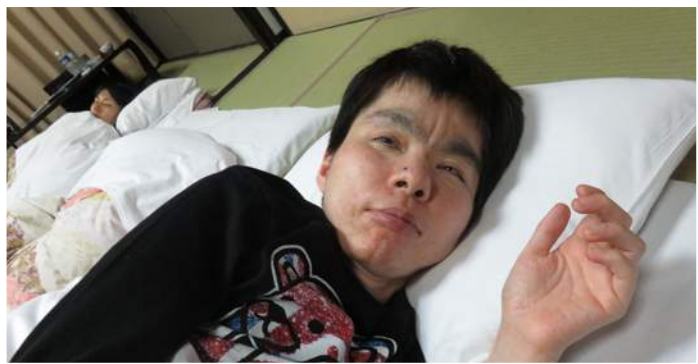
プットインの取り組み

Iさんは午後の個別活動時にビー玉を穴の開いた容器に入れるプットインという作業に取り組まれています。その日の情緒や雰囲気によって、活動場所にさえ入れない日も多々ありましたが、たくさんの支援員から取り組みを称賛され、少しずつ支援員が離れていく機会を重ねたことで、最近はお1人で最後まで取り組むことができるようになりました。



一泊旅行

旅行や外出等、変化が苦手なIさんは長年、外出先での宿泊や食事をする事に不安を抱えておられました。昨年の旅行ではスムーズに介助できるよう準備しておき、提供時間を工夫したことで皆さんと同じ座敷で食事をとることができました。安心されたのか夜は布団に横になりしっかりと休まれました。



あおぞらグループ

あおぞらグループはご利用者様の特性に応じた活動や社会的自立を目的とした少人数グループです。活動内容としては箸詰め活動やペットボトルの分別、個別課題を中心に活動を行っています。



分かる喜び、楽しみを活かすKさん

Kさんは個別活動時、昼食メニューの書き取りに取り組まれています。元々、模写を得意とされ昼食メニューを覚える事に興味を示されていた事から、活動時に書き取ったメニュー表を活動挨拶時に発表して頂いています。Kさんに発表して頂く事でグループの皆さんも本日の昼食メニューを理解する事が出来ています。あおぞらグループでのKさんの役割の一つとなっています。

私の特技

個別活動時に昼食メニューを書きますが、分からない漢字が出てくる事もあります。そんな時は支援員が読み方を口頭で伝えると確認しながらメニューを書かれ、ニコニコしながら再度確認をされます。この漢字はこう読むんだ!!というKさんの笑顔輝く瞬間です。



メニューは
私に任せて!

OPUS グループ

OPUS グループは、受注作業を主体としたグループです。今年度から更なるスキルアップの為、廃品回収を始めました。廃品回収に行くことで社会性の向上を目的としています。

広がる笑顔の輪

明るい挨拶と清潔感ある身だしなみで、廃品回収でも外部の方と笑顔で元気に挨拶をされています。回収作業も慣れてこれらスムーズに行うことが出来ており、廃品回収では欠かせない存在となりました。Nさんも外部の方と関わる機会を持つことで「たくさんの方と挨拶や話が出来て楽しい!」と生き活きされています。



身だしなみケアに取り組むNさん

Nさんは、廃品回収に参加する為に身だしなみケアに積極的に取り組みまれており、爪切りや耳かき、服装のチェックはもちろん、今年度から新しく取り入れた身だしなみケアの道具の一つであるハンドクリームを使って、手先のケアもしっかりとされています。



さくらグループ

さくらグループはウォーキング、ダンスを中心に活動を行っています。地域の廃品回収や高齢者施設等に訪問するなど活動を通して地域との交流の場を増やしています。今年度からダンスで使用する髪飾りなどのアクセサリを作成し、発表会で身に付けていただくことでより楽しく踊れるよう工夫しています。



イベントに向けて

Aさんは、イベントや発表会に向けてダンスの練習に取り組まれています。創作活動ではダンス発表会で使用するポンポンづくりの役割も担っていただいています。



ダンス!ダンス!!ダンス!!!

積極的に活動に参加されるAさんは、さくらグループの他のご利用者様と一緒にいきいきとダンスを踊られています。中でも、AKB48の「恋するフォーチュンクッキー」の曲の際はとびきりの笑顔でリズムに乗っていらっしゃる姿が印象的です。



可憐にダンス!

わかばグループ

わかばグループはご自分のペースで活動に参加する事が好きな方を中心に、日常生活をより自分らしく彩るグループです。午前中はウォーキングや介護予防体操で身体を動かし、午後からはカラオケやボール遊び等のイベント、個別活動で個々に好きな事をして過ごされています。



好きな事をする時間

Hさんは個別活動で型抜きパンチを使用し、折り紙を様々な形に切り抜いています。型抜きパンチを押す感触がお好きなようで、手元の動き、感覚を楽しまれ笑顔になられています。力が必要な場合には、支援員が手添えし一緒に行い、型抜いた折り紙はケースと一緒に収納しています。



自分だけの作品

型を抜いた折り紙は別の用紙に貼っていきHさんの貼り絵作品の完成です。カラフルかつ形も様々なHさんならではの作品です。折り紙を貼る作業もお好きなHさん、これからもどのような作品が出来上がるのか楽しみです。



スタークラブ

個別活動：さおり織り、刺し子、絵画教室

新規取組み：リフレッシュ月曜日（ドライブ、ROGCAFE）

ハッピースマイル木曜日（めいとく温泉、パソコン教室）



『さおり織りでウキウキ』

スタークラブの取り組みをはじめ、3年目のYさんです。毎週水曜日のスタークラブでの『さおり織り』を楽しみにされています。なんにでも興味を示される性格で、糸を織ることのできる模様ができてことに楽しさを感じています。時間どおりに、「今日はよろしくお祈りします!」と丁寧にあいさつをされスタートしています!

『できた喜びを感じる』

はじめは、糸の色を選ぶことに時間がかかり、織る時間が短くなっていましたが、紡いだ糸を用意しておくといっぱい織ることを楽しんでいます。今では、30分で40cm前後織ることができるようになっています。



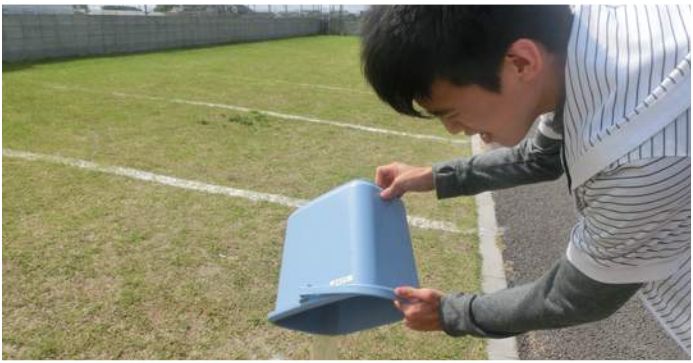
そよかぜグループ

そよかぜグループは自閉症の方が多く所属されているグループです。主な活動内容として、午前はウォーキング、午後は香り玉作成、自立課題、リサイクル作業を行っています。様々な活動を通して感謝やねぎらいの言葉掛けが増えることで、ご利用者様も職員も笑顔で安心して過ごして頂けるように支援の提供を行っています。



毎日欠かさず取り組んでいます

Oさんは来園後、廊下のモップ掛け掃除に取り組まれています。まずモップを絞り掃除をして頂きます。終わったら再度モップを絞ってもらいバケツの水を外に捨てて、モップを片付ける所まで取り組んで頂いています。



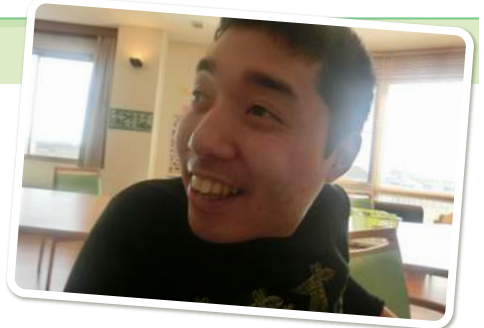
廊下の掃除は僕にまかせて！

最初は掃除を忘れてしまうこともありましたが、現在では声掛けや促しがなくても自ら率先して掃除と片付けをしています。掃除が終わると支援員と満面の笑みでハイタッチをして掃除が終わったことを知らせてくださいます。



らふグループ

らふグループでは日常的に身体面でのサポートが必要とされる方々が利用されています。みなさんが楽しく、笑顔で過ごせるような環境づくりをしています。らふグループでの活動は“〇〇づくり”と称し、ご利用者様が色々な物事を“つくる”ことで主体的に参加できるようにしています。



笑顔でコミュニケーション！

Mさんは、優しく、人との関わりが好きで、よく他ご利用者様の会話や様子などを見ておられます。支援者の話を聞きながら活動に取り組まれています。



“つくる”楽しみ

Mさんは創作的な“づくり”では独特のタッチで色彩を描かれるなど、写真のように見事な作画をされています。これが、様々な作品の中に切って入れたり、バスボムの裏に入っている紙紙などに使われています。



Rog Cafe (ログカフェ)

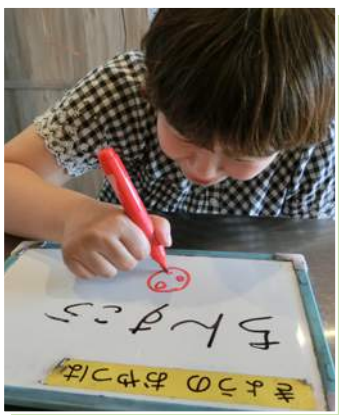
ログカフェの主な活動内容は、ケア・ハピネスご利用者様のおやつ作り、接客（コーヒーを淹れる練習）、園芸、創作活動などです。

ご利用者様が、他のご利用者様、ご家族、地域の皆さんたちとふれあうことや、カフェでの活動を通して楽しさや喜び・生きがいを感じていただき、より充実した生活が送れるよう支援させていただいています。



自分だけのおやつノート

Mさんは毎日のおやつをホワイトボードに記入し、らふグループへおやつを持って行かれた際に発表を行っています。またホワイトボードに記入をしたら写真を撮り、印刷してノートに貼って、オリジナルのおやつノートを作っています。Mさんは「自分でおやつを考えたい」という思いがあるため、このおやつノートの中から毎月3つ選び、ケア・ハピネスのおやつとして作っています。



おやつを発表、頑張ってます

以前はらふグループでのおよつ発表で恥ずかしそうな様子が見られていましたが、今ではご自分から「発表に行こうか!」と言われ笑顔で取り組まれています。発表の時はやっぱり少し緊張されるようですが、皆さんに「おやつおいしかったよ」と言われることが、次のやる気に繋がっているようです。



→ 今日のおやつです♪

04

チャレンジめいとくの里
ゆめくらしワークス事業部

YUMEKURASHI WORKS

就労移行支援

就労移行支援事業は、障がいのある方の一般企業等への就職をサポートする通所型の福祉サービスです。原則2年間の有期限のサービスになっています。

トレーニングを通して、仕事を行う技術を身に付けたり、仕事に必要な社会ルールやマナー等を学びます。また、企業実習を通して、働くために必要な力を再確認し、就職活動を行っていきます。就労後は、ジョブコーチ支援制度も活用しながら、職場訪問や就業生活相談に応じて、職場定着が円滑に進められるようにしています。



『商品検品、陳列のトレーニングを通して仕事イメージを学ぶAさん』

スーパーや倉庫などで、商品を管理する作業技術を身に付けるトレーニングです。集中したまなざしで仕事と向き合われています。Aさんが強みを活かす仕事分野の1つです!

『ゆめくらしフォーラムで取り組み発表をするAさん』

これまでのトレーニングや実習経験を語るAさん。就職への準備を整え、就職活動が大詰めを迎えています!



生活訓練

自立した日常生活を組み立てるために必要な訓練、生活に関する相談および助言などの支援を行います。「生活リズムを整えて、今の生活を変え、社会復帰していきたい」など一人一人が思い描く将来像を形にしていけるため、さまざまなプログラムを取り組んでいます。(プログラム内容：はたらく・くらすセミナー、カウンセリング、仕事の練習等)



みんなが笑顔になれるカフェづくり

カフェプログラムでは、クッキー作りやコーヒーの準備、設営等、みんなで協力して行います。そのプログラムに参加されているNさんです。カフェを通して、いろんな方と接する機会が増え、人とのやりとりの仕方、協力して仕事をするを学ばれています。



取り組み始めたころは、接客に不安をもっていました。一緒に取り組んでいるメンバーに教えてもらいながら、日々笑顔で取り組まれています。

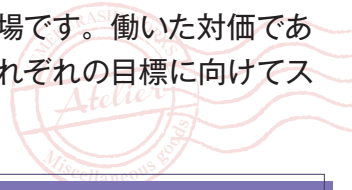
「やってみたい」が見つかる

今回クッキー作りをすることは初めだったというNさん。戸惑うこともありましたが、練習をすることでできることも増えました。今後は、クッキーのバリエーションも増やしていきたいといろんなアイデアを出されています。これからもカフェを通して、たくさんの方と接する機会をつくりたいと考えられています。



就労継続支援 B 型

就労継続支援 B 型は、「働く生活」を送る場です。働いた対価である工賃を得ながら、様々な作業を通して、それぞれの目標に向けてステップアップができる場所です。



作業内容

アトリエ

ペーパーフラワー商品の製作、ふりかけ製作、商品販売、受注作業等

ファーム

タマネギやお米といった季節野菜の栽培、竹炭製作 野菜・果物の加工等



Hさんは手先を使った細かい作業が得意です。ペーパーフラワー商品の一つであるトピアリー製作作業では手先の器用さを活かし、ペーパーナブキンから直径5cm程度の小さな花を作る花づくり作業をされています。

花づくり作業は初めは一日に20個程作ることが精一杯でした。回数を重ねることで今では1日60個の花を作ることが出来るようになってきました。花づくりの記録を更新したいと目標を持って作業に取り組まれています。



ココイロギフト(2800円)

ふりかけ、キーマカレー、お米の詰め合わせセットです。



ココイロキーマカレー(450円)

鶏ひき肉、ジャガイモ、タマネギ、たけのこ、れんこん、エリンギ、えのき、大豆などいろいろな具材が入った食感を楽しめるカレーです♪



手作りふりかけ「いりかりこ」380円(パック300円)

4種類(醤油、梅、柚子胡椒、からだ思い)手軽に栄養が取れるのでおすすめです♡



アイス~ミュレ~

米ミルク、アールグレイ(280円)ピスタチオ(320円)の3種類あります♪人気商品は米ミルクです!!利用スタッフ一同愛情込めて作っためいとく米を使用していますよ♡ぜひ、ご賞味ください!^o^!

ゆめくらしワークスB型 商品紹介

YUMEKURASHI WORKS PRODUCTS

アレンジレシピ

手作りふりかけ「いりかりこ」でつくったおすすめ3品をご紹介します♡



お弁当にぴったり
旨玉巻き

飽きのこないアレンジ卵焼き。
お弁当のおかずにも、
お酒のお供にもピッタリです♪



『トピアリー』(1200円~)

ペーパーナプキンから直径5cm程度の小さな花を作って、60個ほどの花をボールにつけて木に見立てるようにしてデザインしています♪スタッフのみなさんが一つひとつ丁寧に作っています!!お部屋を華やかにしてくれますよ♡



和お!
素麺チャンプルー

余った素麺を一工夫。
シンプルな味付けでも
しっかりした食べごたえ!

明徳会からのお知らせ

第13回めいとくフェスタは
10月21日(土)に開催予定です!

たくさんの方のご来場お待ちしております!!

場所 チャレンジめいとくの里





障がい者支援施設

チャレンジめいとくの里

生活介護 施設入所支援
短期入所 日中一時支援

〒861-5503 熊本県熊本市北区明徳町 707-1
Tel. 096-215-9101 Fax.096-245-2344
c.meitoku@meitokukai.jp

ゆめくらしワークス事業部

就労移行支援 生活訓練 就労継続支援 B型

Tel. 096-215-9103 Fax.096-273-6343
meitokusato-works@meitokukai.jp



障がい者グループホーム

ゆめくらし事業所 orangehouse

共同生活援助

〒861-5503 熊本市北区明徳町 948-1
Tel. 096-223-5161 Fax.096-245-5951
yumekurashi-orange@live.jp



地域生活支援センター チャレンジ

相談支援事業

〒861-0132 熊本市北区植木町植木 163-1 植木ビル 1F
Tel. 096-227-6450 Fax.096-227-6451
meitoku-challenge@live.jp



障がい福祉サービス事業所

ケア・ハピネス

〒861-5512 熊本市北区梶尾町 1379-3
Tel. 096-245-6611 Fax.096-245-3399
happiness@meitokukai.jp

明徳会公式サイト

<http://meitokukai.jp>



明徳会フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/meitokukai>



ゆめくらしワークスフェイスブックページ

<https://www.facebook.com/yumekurashiworks>



めいとく日和

<http://ameblo.jp/meitokukai>

